市民と市政をつなぐ　小田原市議会議員　しのはら弘

手づくり市政情報紙

かけはし

発行者 篠原　弘／〒250-0858 小田原市小台322-5／TEL 090-1652-3900／E-mail shinohara.hiroshi1116@gmail.com

小田原市 2022年度 当初予算

一般会計 過去最大710億円

2022年度当初予算が市議会3月定例会で可決されました。2030年の小田原の姿を描いた第6次小田原市総合計画のスタート年として、まちの魅力を維持・向上させるための様々な取組が盛込まれたことから、一般会計は、対前年度比16億円増の710億円となり、2年連続で過去最大となりました。一方、市税は増収を見込むものの、財政調整基金は2年連続で25億円を取崩すほか、市債残高も膨らむなど、厳しい財政状況が続きます。

歳入

厳しいやりくり

市税9億円増

歳入の45%を占める市税は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減収を見込んだ2021年度に比べ、個人市民税や法人市民税などの増収を見込み、市税全体で対前年度比8億9900万円増の319億100万円を見込みました。

財政調整基金（貯金）25億円取崩し

財源不足に備えるための市の貯金である財政調整基金は、2年連続で25億円を取崩し、22年度末の現在高は、約31億円まで減少する見込みです。

一般的に積立額は**標準財政規模**の10%程度が適正とされており、22年度における本市の財政調整基金の適正規模は40億円程度になります。

市債（借入金）47億6千万円

公共施設や道路などの整備に充てるための借入金である市債は、47億6550万円で、22年度末現在高は566億4173万4千円となる見込みです。

市では、市債の新規借入額を元金償還（返済）額の範囲内とすることを基本に残高の縮減に努めていますが、第6次総合計画の推進などにより、残高は増加しています。

全会計の予算規模

会　計　名	令和４年度	前年度比
一般会計	710億円	+2.31%
特別会計（10会計）	664億4,477万2千円	+9.54%
企業会計（３会計）	334億5,814万3千円	+2.83%
合　　計	1,709億　291万5千円	+2.83%

市税・財政調整基金・市債の推移

年度	市税全体	財政調整基金（残高）	市　債（残高）
平成25年度	324億3,433万8,299円	37億2,218万4,879円	453億7,762万円
平成26年度	329億4,751万2,055円	46億2,324万7,869円	461億1,388万4,000円
平成27年度	330億1,339万2,567円	55億8,545万6,742円	467億8,742万9,000円
平成28年度	332億　702万4,396円	56億8,627万9,068円	469億2,727万5,000円
平成29年度	332億6,865万4,483円	58億9,726万7,584円	465億9,606万8,000円
平成30年度	328億2,882万5,928円	61億3,761万3,960円	490億2,197万2,000円
令和元年度	331億9,666万8,898円	58億1,994万9,132円	519億2,399万9,000円
令和２年度	326億7,309万8,400円	52億　466万　180円	552億8,330万5,000円
令和３年度	310億　200万円	56億1,310万1,014円	566億2,887万3,000円
令和４年度	319億　100万円	31億1,708万　614円	566億4,173万4,000円

※ 令和３年度、４年度の市税は予算額、財政調整基金と市債は残高見込み。

一般会計

地方公共団体の会計の中心をなすもので、行政運営の基本的な経費全般の経理を処理する会計。

標準財政規模

合理的かつ妥当な水準で行政を行うための標準的な一般財源の規模で、全国一律の算出方法に基づき、毎年度、普通交付税の算定時に算出される。

本市の21年度における標準財政規模は約400億円。

＊「かけはし」は、暮らしに必要な市政の動きをピックアップして、分かりやすくお知らせする市政情報紙です。

歳出

まちの魅力の向上へ

小田原駅西口広場の再整備

民間再開発と一体的に整備

予算額　検討委託料ほか　約2億円

新幹線ビル建替え

現在、小田原駅西口周辺では、老朽化が進んでいた通称「新幹線ビル」の建替え工事（左図A街区）が進められています。

民間再開発事業

また、西口広場の東京方面に隣接する区域（左図B街区）では、民間地権者が再開発事業を検討しています。

西口広場と民間再開発事業　位置図

小田原駅西口広場

一体的に整備

市では、これらの動きと連携し、地元や市民から要望が寄せられている「西口広場」の機能拡充や安全性を高めるため、B街区との一体的整備に向けた検討を始めます。

整備基本構想を策定

2022年度は、整備方針、採算性、一体的整備のあり方などの調査業務をコンサルタントに委託し、その結果を整備基本構想の策定につなげていきます。

究極のゼロカーボン・デジタルタウン

計画候補地　小田原少年院跡地

予算額　準備委託料　約1500万円

新しいまちを創造

市では、未来に向けて市民の皆さんの暮らしがより一層便利で快適なものとなるよう「デジタル化によるまちづくり」を積極的に進めています。

また、2050年までに「ゼロカーボン」（脱炭素社会）を目指しています。

こうした目標に向け、デジタル技術を活用した「脱炭素」と「エネルギーと経済の地域好循環」を実現する新しいまち「ゼロカーボン・デジタルタウン」を創造します。

目指す街（イメージ）

▼太陽光発電や省エネを組み合わせた「脱炭素型の建築物」のみを整備

▼新技術の活用とリサイクルの徹底で「ゴミゼロタウン」を実現

▼街に送られてくるエネルギーは地域マクログリッド技術などを活用し「送電される電気は全てクリーンエネルギー」

▼災害時には「EV（電気自動車）を動く蓄電池として活用」し非常用電源を供給

計画候補地　小田原少年院跡地

市では、市内外の大学などの教育・研究機関や企業と連携し、🔍**小田原少年院跡地**を軸とした候補地の選定や事業の推進体制に係る検討を進め23度中に基本構想を策定することにしています。

旧小田原少年院

2030年に街びらき

22年度は、コンサルティング会社の支援を受けながら、タウンのあり方や事業スキームの検討などを行い、23度中に基本構想を策定し、2030年の街びらきを目指しています。

🔍小田原少年院跡地

1952年に開設された小田原少年院は、施設や設備の老朽化などにより、2019年4月に閉庁。

市では、小田原駅から徒歩約5分という立地で、約2・4㌶もの敷地面積を有する同跡地の有効活用について、施設を所管する財務省と協議中。

（次面に続く）

＊「かけはし」は、見えにくい情報や分かりにくい情報も取り上げています。

よりよい学習環境づくり
35人学級・ICT活用など

予算総額（本面掲載事業）約3億1千万円

学力・学習状況調査

児童生徒の学力等の変化を把握するための学力・学習状況調査（ステップアップ調査）をモデル校6校（中学校＝泉・酒匂／小学校＝富水・東富水・酒匂・富士見）で昨年度に続き実施します。

対象は、小学4年生から中学3年生で、国語と数学（算数）が調査科目になります。

同調査は、2021年度から23年度まで3カ年継続で実施されます。

4年生も35人学級に

きめ細かな学習指導を行うため、21年度から国の取組より1年早く35人学級を導入しており、すでに1～3年生が35人学級になっています。

小学校での授業風景

昨年度の3年生は、この4月から4年生に進級しましたが、35人学級は引き続き維持されています。

ICT活用教育

児童生徒1人1台の学習用端末や校内の高速大容量無線LANなどの学習ネットワークを活用し、学習支援ソフトやインターネットによる調べ学習などを実施します。

また、家庭での本格的な端末使用を開始するため、フィルタリングソフトの導入や通信環境がない家庭への通信費支援を行います。

新しい学校づくり推進基本方針を策定

子どもたちにとって望ましい教育環境の基本的な考え方を取りまとめるため、22年度から23年度にかけて、学識経験者や校長、保護者などで組織する「新しい学校づくり検討委員会」を設置し、「新しい学校づくり推進基本方針」の策定に着手します。

スイミングクラブで水泳授業

小中学校の水泳授業と学校プールのあり方を検討する一環として、新玉小学校の水泳授業を近隣の民間スイミングスクールで試行的に実施します。

授業は1・2年生約60人、3・4年生約60人、5・6年生約60人、特別支援学級約10人の4グループに分け、1グループ当たり1コマ60分を5コマ実施し、スイミングスクールの指導員5人が泳力別に指導にあたります。

室内プールでの水泳授業（イメージ）

新玉小学校のプールの水槽は、昨年9月に多数の穴があき、漏水していることが判明しており、改修には多額の費用が見込まれています。

市内の学校では、プールの水槽や水のろ過装置などの老朽化が大きな課題となっています。

新たな企業誘致
事務系オフィスを積極的に誘致

予算総額　2330万円

質の高い魅力的な働く場を市内に生み出すため、これまでの工業系地域への工場や研究所等の誘致だけでなく、新たに市内に拠点を構える事業者などへの賃料や改修費用、コワーキングスペースの利用料などに対する支援制度を設け、事務系オフィスを誘致します。

オフィス賃料等補助金

補助対象は、市内に新たに進出し、事務機能を備えたオフィスを開設する市外企業、または業務拡大のため、新たに事務機能を備えたオフィスを開設する市内企業。

補助内容は、賃料36か月間で、物件取得費の2分の1。

リノベーション費用補助金

補助対象は、市内に新たに進出し事務機能を備えたオフィスを開設する市外企業または業務拡大のために新たに事務機能を備えたオフィスを開設する市内企業。

補助内容は、リノベーション費用の2分の1。

コワーキングスペース利用料等補助金

補助対象は、市内に進出または新たに起業し、地域課題の解決に取り組む企業等で、補助内容は、施設利用料、交通費又は宿泊費の2分の1（最大12か月）。

※掲載の補助金には、一部対象外となるものや、補助の上限及び加算などが設けられているものがあります。

詳細は、市のホームページに掲載されています。

ちょっと気になる　新たな取組

■109の公共施設を包括的に管理委託

川東タウンセンターマロニエ

管理業務の質の向上と効率化などを目的として、現在、所管部署が施設ごとに行っている保守点検、清掃、機械警備、修繕などの管理業務を、2023年度から一元化し、複数年で契約することにしています。本年度は、事業者選定委員会を設置し、受託する業者を選定します。

対象施設は、小中学校や市営住宅などを含む109の公共施設で、事業費（委託料）は23年度から27年度までの５年間で34億3,200万円を見込んでいます。

■ドッグランを試行的に開設

ドックラン開設位置図

犬の飼い方マナー啓発の一環として、ドッグランの本格整備に向け、上府中公園多目的広場に無料のドッグランを試行的に開設します。

設置面積約900㎡の中に小型犬・中型犬エリアと大型犬エリアを設け、ドッグトレーナーなどの専門職員のほか、担当職員と警備員数名を配置します。

開設は、５、６、10、11、12、３月の土日祝祭日のうち月１回で、利用方法などの詳細は、市の広報やホームページに掲載されます。

■新たな空家等対策計画を策定

管理不全の住宅

市では、2016年度に空家等対策計画を策定し「空き家化の予防」「空家等の流通・利活用の促進」「空家等の適正管理の促進」の３つの方針を掲げ、対策に取り組んできましたが、計画期間が本年度で終了することから、現計画の課題などを踏まえた上で、23年度から始まる新たな計画を策定します。

策定に当たり、21年度に市が保有するデータベースや水道休止情報などにより、空家等の調査対象を絞り込んだ上で、現地調査や周辺住民への聞き取りを行い、空家等の現状を把握しました。

本年度は、これらの基礎資料を基に、より実効性のある対策を盛込んだ計画案を作成します。

■デジタル化によるまちづくりを推進

市では、未来に向けて市民の暮らしがより一層便利で快適なものとなるよう「デジタル化によるまちづくり」を積極的に推進しています。

昨年度に🔍「ＡＩチャットボット」を運用し、観光情報などを発信する「デジタルサイネージ」（電子看板）をミナカ小田原と小田原駅東西自由通路に設置したほか、本年度は、市役所各窓口での「キャッシュレス決済」を導入します。

🔍ＡＩチャットボット　リアルタイムに自動で短文の会話（チャット）を行うロボット（プログラム）。

■魅力を高める公園づくり（街区公園再整備）

市内の街区公園

子どもたちが遊んだり、ベンチで休憩する人もいる🔍**街区公園**は、市内に141公園がありますが、中には遊具や設備の老朽化などにより十分に利用されていない公園もあります。

このため市では、誰もが利用したくなるような魅力ある公園づくりをめざし、本年度中に再整備に向けて市民参加による検討会を開催した上で再整備計画を策定し、2023年度から順次、再整備工事を行います。

🔍街区公園　公園を中心に、半径250m以内に住んでいる人たちが利用できるよう、遊戯施設、広場、休憩施設等が配置された面積0.25㌶を標準とする公園。

■持続可能な消防団へ　処遇を改善

消防団が参加する防災訓練

小田原市の消防団は、23の分団で組織され、その構成員である731名（令和４年４月１日現在）の団員は、他に本業を持ちながら「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。

市では、総務省消防庁による「消防団員の処遇等に関する検討会」最終報告に基づき、将来にわたる持続可能な消防団に向けて、消防団員の費用弁償を出動報酬にあらためたうえで、下表のとおり処遇を改善しました。

種　別	新（出動報酬）	旧（費用弁償）
災害出動　４時間以下	4,000円	３時間未満　2,900円
災害出動　４時間超	8,000円	３時間以上　4,300円
警戒出動	3,500円	2,300円
訓練出動	3,500円	2,300円

＊「かけはし」のバックナンバーもあります。ご希望の方は１面上段の発行者までご連絡ください。